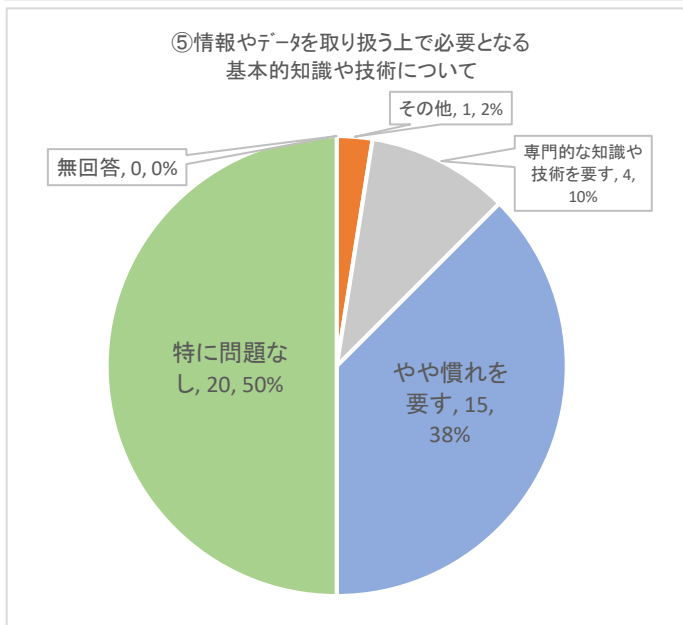
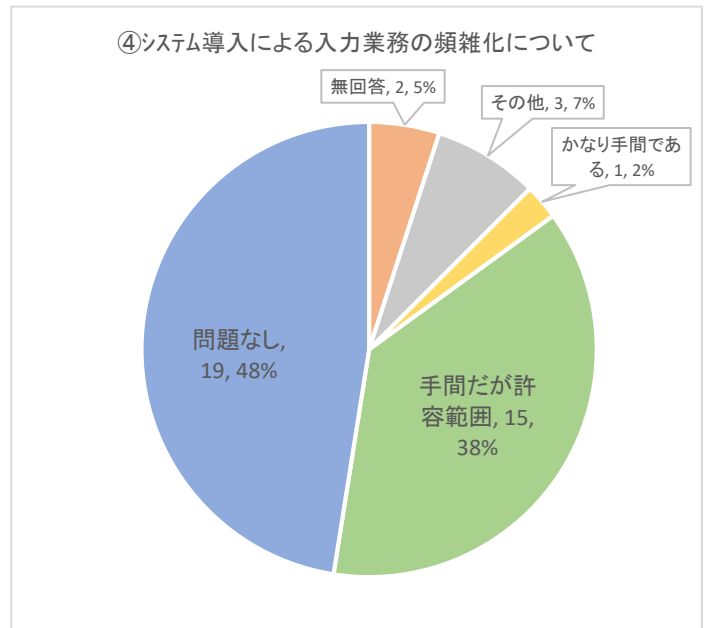
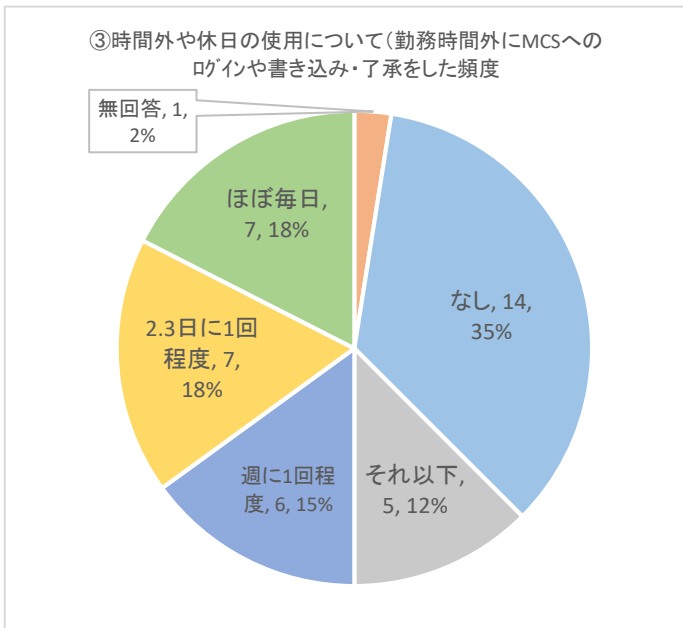
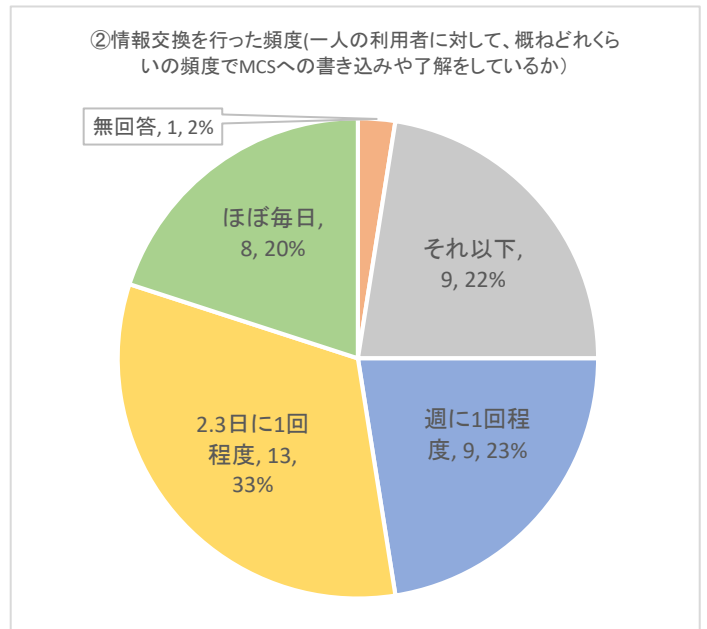
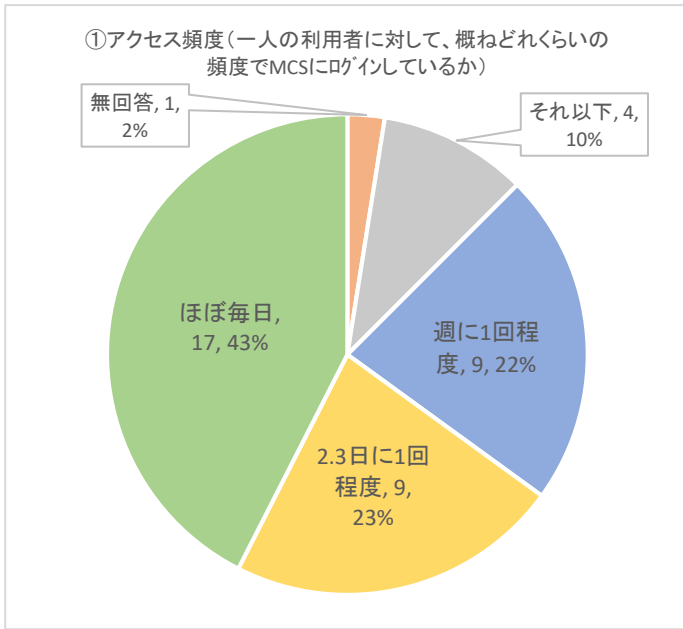


メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

調査期間: 令和3年2月17日～3月1日
 事業所件数: 19件
 アンケート回答数: 40名



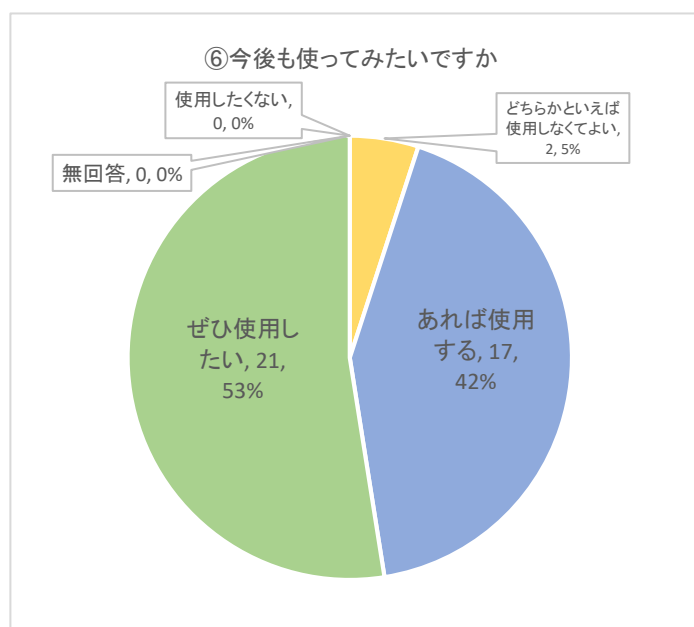
- ④その他回答
- ・慣れると情報共有しやすく問題ない。
 - ・かなり手間だが必要な情報の共有ができる。

メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

調査期間: 令和3年2月17日～3月1日

事業所件数: 19件

アンケート回答数: 40名



⑦理由(⑥に関して)

- ・自身が訪問していない時に起きた事、体調等の情報が分かるため、とても助かっています。また問題があった際、多種類で同時に解決策を検討できるため、問題解決までのスピードが早いです。
- ・処方意図が解る。他職種との情報共有ができる。添付ファイル等見やすい。
- ・医師や多職種との連携がとれやすい。夜でも連絡がとれる。
- ・指示確認等が文書でリアルタイムで行えたので、アクシデント、インシデント予防につながっていると思う。
- ・電話するほどでもないが、状態を報告したい時に有効と思われる。
- ・記録の入力には自分の技術面で手間を要すると思っている為。
- ・情報共有の安心感がある。
- ・いろいろな多職種と連携がとりやすい。指示が受けやすい。情報がたくさん入る。
- ・ツールを使って関わっている人全員に(個人にも)すぐに連絡つける事ができる。
- ・処方元が使っているの。
- ・タイムリーに情報共有できる。
- ・診療に行かない日の情報収集のため。
- ・病院、薬局、ケアマネなどとの情報交換ができる。
- ・居宅の介護ソフトと連携していないので、だんだん面倒になってきた。
- ・他の事業所や利用日以外の状態などの把握と、情報共有がよりスムーズにできる。利便性は重要と感じる。
- ・先生や各サービス事業所とリアルタイムに情報交換ができ、支援のスピード感が増した。
- ・本人の状況を訪看さんからの報告で知ることができ、ケアプラン作成に活用できそう。
- ・サービス利用状況や状態確認がすぐにでき、情報共有できるため。
- ・専門職間の連絡や情報が共有出来る。
- ・まだ習慣になっていないので、TELで聞いてしまうことがあるが、いつも目の前にあれば利用するかもしれない。基本的にはHPにTELしてDRIにFAXして意見をもらうパターンが多いような気がする。個人の病院ではTELでのやりとりがあるが、紙ベースで残した方が安心感があるような…。
- ・会社の方針で居宅にはネット環境が整っていない為。
- ・情報共有には使用してみてありがたかった。支援経過の内容が充実した。利用者との面談時に情報が役に立ちました。

メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

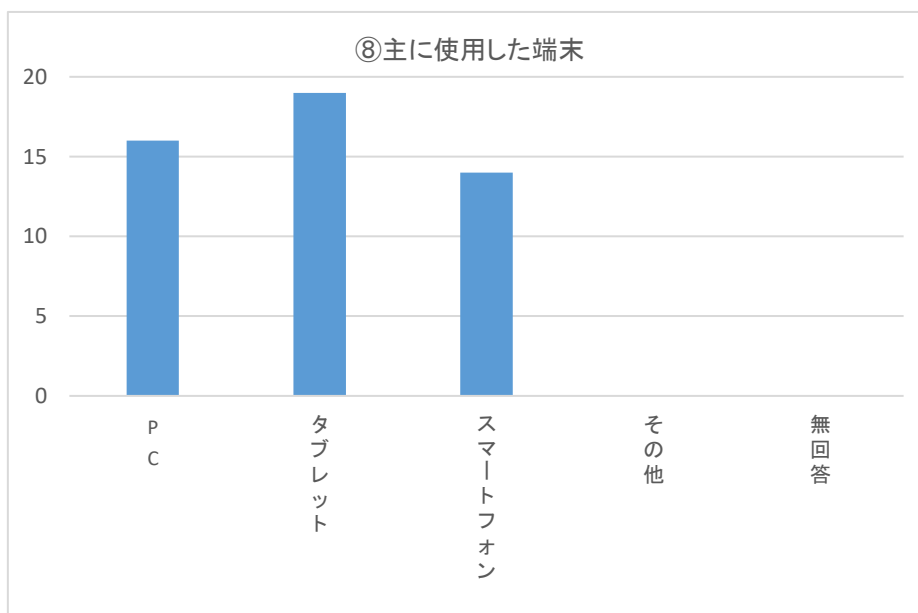
調査期間: 令和3年2月17日～3月1日

事業所件数: 19件

アンケート回答数: 40名

⑦理由(⑥に関して)

- ・操作に慣れない。情報画面を出すまでに毎回手間がかかる。自分の知識不足や手技の調整かもしれないので、一度しっかり教えてもらって、理解習得してから望むべきだったと反省している。
- ・看護師さんの訪問時の状況を記載して下さるので知る事ができて良い。皆さんにお伝えしたい事はMCSに記載すれば伝わるので良い。
- ・現在状態安定している方1名のみ。今後ターミナルの方など、頻回に情報共有が必要な場合は使用したいため。
- ・医療関係者との情報共有が容易であるから。
- ・リアルタイムで連携が図れ、ご利用者の支援に有用なため。
- ・他職種連携がはかりやすく、写真も添付できるので、状態の把握がしやすかった。コロナのこともあり頻繁な訪問ができなかったのも、とても助かりました。
- ・情報の共有が早い。アドバイスや意見等知ることができる。
- ・書面等でやり取りするよりも、リアルタイムで情報交換が可能な為。
- ・多職種での情報共有は必要だと思うので。
- ・在宅医療をおこなっていくうえで、必要なツールと思います。(多職種間での情報共有として)
- ・毎回同じ患者さんと携わるわけじゃない為、日々の変化を知る事ができる。
- ・タイムリーに情報共有できるため。
- ・情報共有ができる。伝えておきたいこと、次見てほしいことが伝えられる。
- ・多職種連携に今やらなくてはならないツールとなっており、職種によっては必要不可欠な物で、なくなると困るという意見もあります。



⑧端末に対する意見

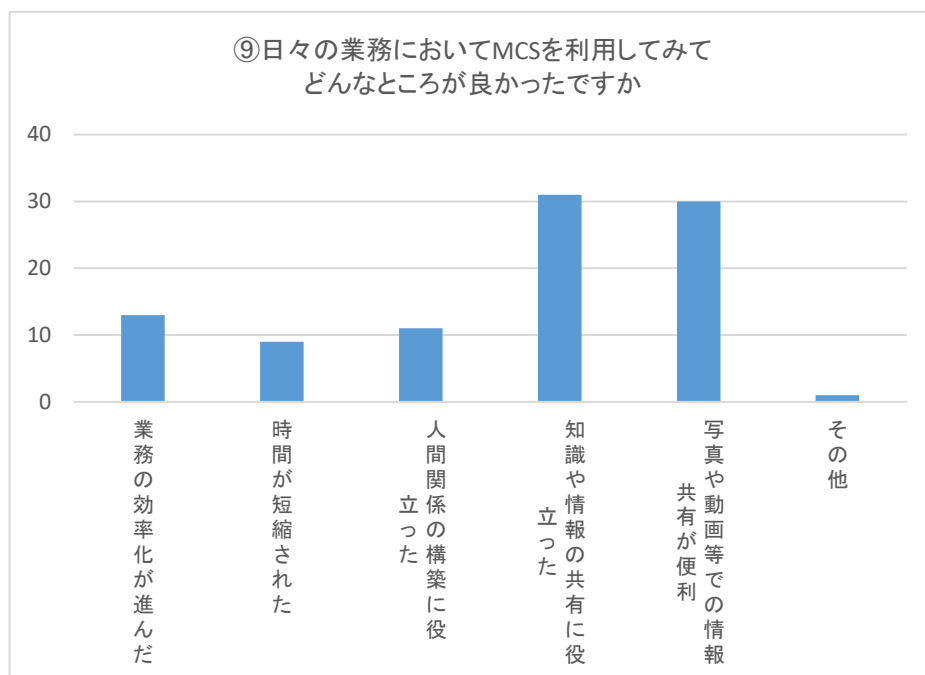
- ・web上で利用できるため、とても便利です。
- ・うちはタブレットがないので、個人の携帯でしているのも、嫌というスタッフもいる。でも全員入って使っている(Ns、PT、OT)。
- ・画面も大きく見やすい。
- ・使いこなせてない…。
- ・大きくて見やすい。
- ・氏名の表示画面をあいうえお順などに変えられると利用しやすい。
- ・携帯が悪いのかもしれないが、動きが遅い。

メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

調査期間: 令和3年2月17日～3月1日

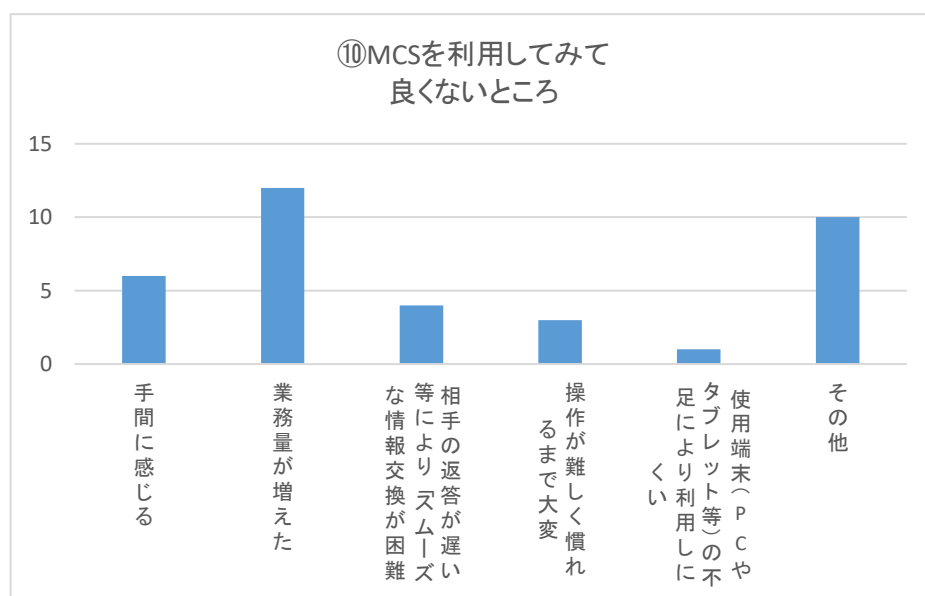
事業所件数: 19件

アンケート回答数: 40名



その他内容

・なかなか時間がなく、見ていないのが現実です…。今後は活用したい。

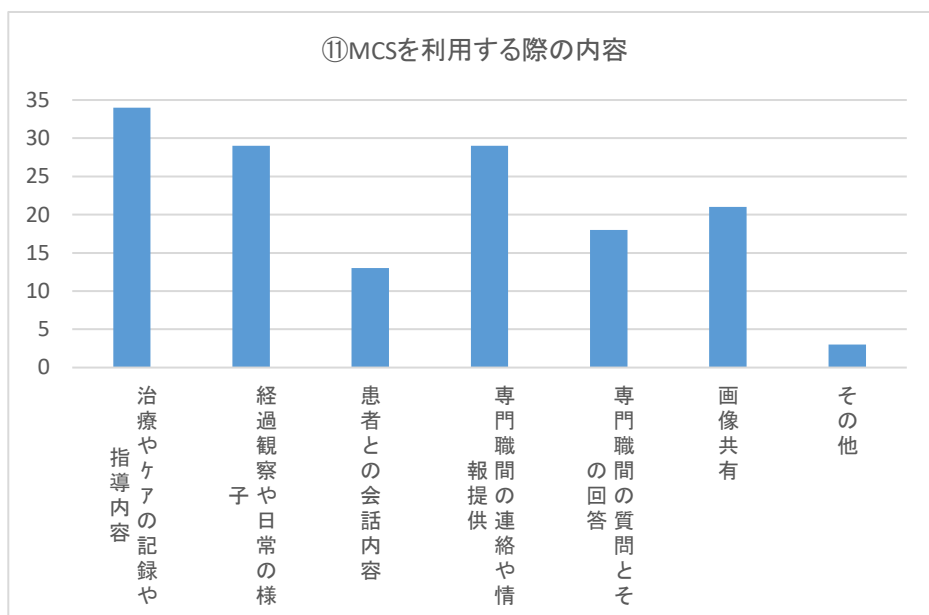


その他内容

- ・良くない所はあまりなかった。
- ・精神的な負担。
- ・1名の利用者様のみの使用であり、利用頻度が少ない。
- ・重い。もう少し小さくてもいいと思う。
- ・PCにつながってないので、支援経過にも別に入力する為。
- ・習慣化するまで手間に感じる時もあったが現在は問題なし。
- ・相手が確認したのか分からない事がありました。
- ・訪問の方の人数が増えていることと、外来業務もあるので、目を通していません。申し訳ありません。
- ・訪問中はアクセスして情報確認ができない状況もあるため、緊急時は電話対応がよい。
- ・操作の苦手な方には負担もあると思いますが、年配の方など一斉受け付けられない方もいる。

メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

調査期間: 令和3年2月17日～3月1日
事業所件数: 19件
アンケート回答数: 40名

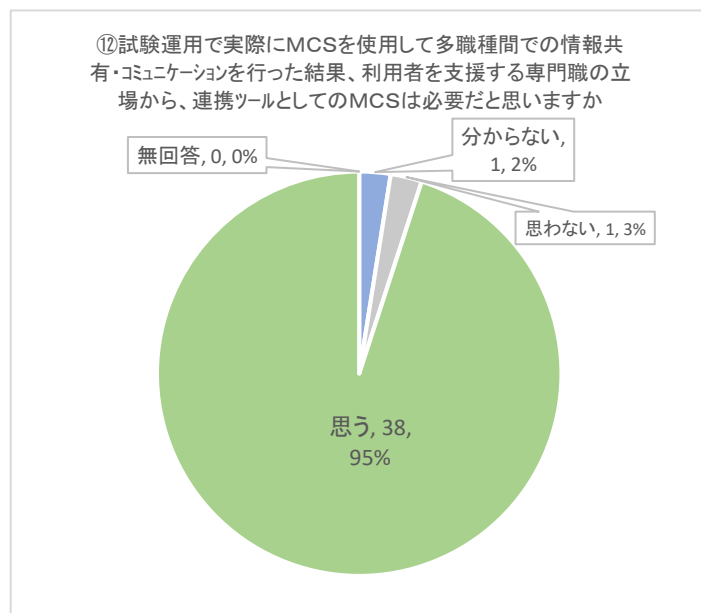


その他内容

- ・ターミナル利用者さんは、必ず使用している医院もある。
- ・私は確認するだけでしたが、非常に良いと思います。
- ・退院前カンファレンス、指示書、介護基本情報、診療情報提供書などのファイル添付。

メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

調査期間: 令和3年2月17日～3月1日
事業所件数: 19件
アンケート回答数: 40名



理由

- ・薬剤師の立場から…訪問診療でどんな話しをして薬剤が追加になったかを分かった上で訪問できるため、スムーズにお薬の説明ができ、患者さんの理解も良い。医師、薬剤師間での薬の説明内容の食い違いがないためトラブルも起きない。
- ・治療計画、処方意図が明確になった。各々専門職の意見から気付く点があった(新たに)。
- ・必要だと思う。今までは訪問したらHPに連絡(TEL)するのに昼休みや夕方までなので時間を指定されていた。MCSは車の中でも打てるし、夜でも良いので便利である。
- ・MCSに限らず連携ツールがあることで、情報共有、連絡がスムーズに行えると思うので、ツールがあることは必要。
- ・訪問頻度の少ない職種の方であっても、情報を得ることができるから。
- ・多職種間との連携は行いやすいと思う。
- ・多職種との連携がとりやすくなることにより、利用者にとって良い支援が行えると考えます。
- ・今後、自分の会社発信で使いたいと考えている。
- ・情報共有は必須。
- ・画像などより正確な情報共有が出来る。
- ・直接電話でコミュニケーションをはかるよりは、手軽にできるため今後は使用していきたい。
- ・住宅型ですがコロナ対策として家族の入室禁止、面会は玄関にて行っています。利用者さんや家族の不安な面や身体的症状に早期対応ができ、利用者さんや家族へ安心してもらえています。
- ・事業所など遠方であったりすると顔合わせて情報共有することがむずかしいことなど色々問題もあり、MCSでの情報共有はとても有益と思う。
- ・医療ニーズの高い方は特に医師への情報伝達、相談においてとても役に立つツールと思うから。
- ・利用者様の状態把握には役立つが、ケアマネジャーとしての発信の仕方が分からない。訪看を利用している方にとっては、状態の急変などが一目でわかるため、今後必要であると思います。
- ・素早く利用者様の情報を得ることができる点や、適切なアセスメントを情報共有できるため、これからは必要性があると思う。
- ・経過観察や日常の様子が分からない。または見えない部分があるので、ケアマネとして連携ツールは必要と思われる。
- ・自分の空き時間で作業することができる。写真の添付が出来るのが良い。
- ・多職種間で情報共有ができ、電話やFAX以外の手段として活用できる為。

メディカルケアステーション(MCS)評価アンケート調査結果(2回目・最終)

調査期間: 令和3年2月17日～3月1日

事業所件数: 19件

アンケート回答数: 40名

理由

- ・MCSはあったら便利だと思う。今回は医療情報のツールだと思いますが、介護の分野も拡大して頂けたら良いと思います。
- ・要支援の方が対象だと必要性を感じない。ターミナルの方、主治医との連携や家族、介護職の連携を密にとった方がいい方、独居の方などには有効に使えるのではないかと思う。
- ・必要かどうかは利用者による。ケアマネから常に発信する必要性を感じない人もいるし、そういう人でも更新時の主治医意見書の依頼をMCSを使ってしやすいのかなと思う。
- ・私の担当の方(現在利用している1名)は、おんが病院の訪看、訪問診療を利用しているため、MCSよりも内線のやりとりの方がスムーズに行えている。他の病院の主治医や訪看とチームを組む際は、MCSの活用が効率が良いと思う。
- ・医療依存度が高い利用者について情報共有がしやすい。
- ・リアルタイムでInf共有できるので早期の介入やケアの方向性の共有、予後予測に有用と考えるため。しかし状態の変化がない方は更新がないため、活用が必要な人の検討は必要だと思います。
- ・情報を共有することによってより効率よく支援することが出来る。MCSを利用することで情報を早く得られる。
- ・効率が良く他職種との連携が密にとれ、患者様に対してもリアルタイムに情報が得られる為、知らなかったという事が減ると思う。
- ・他の連携ツールで多職種間で情報共有を行ったことがないので。
- ・請求をする際、多職種の方々の情報(写真など)で実際の状況が把握できるのは助かります。
- ・常に多職種の人と会って情報交換はできず、それぞれが関わった時の様子や状態の変化をタイムリーに知るために必要だと思う。
- ・自分の時間内で多職種間での情報共有、コミュニケーションを共有出来る。
- ・電話では1対1のため、受けとり方や聞きまちがいのリスクもあるが、MCSは多職種で連携し、1患者様の情報共有、確認作業もできるため、ミスの防止やよりよい医療、看護の提供ができるため必要である。
- ・患者及び家族に対してのより良いサービスの提供を行う為には、ICTは注目されシステムも進歩しています。効率を考えると操作を手間と感じますが、結果的には自分のタイミングで自分の情報を配信することは良いと思います。

⑬MCSの使用に関して気付いた点

- ・いろんな訪問診療医に使って欲しい(今は楠本医院だけなので)。
- ・メンバーの方と個別にてメールのやりとりできたらいいなと思います。
- ・有効活用、業務改善から記載方法の学習の必要を感じた。他の職員の書き込み、報告を見ても個人差がある。
- ・発信者が招待しないと使えないのが不便。
- ・タブレットが軽量化したらいいなと思います。
- ・褥瘡や低温火傷など写真でその状態を即観察できるような場合は、すぐ家族や受診の必要があるか処置をどうするか等、速やかな対応ができると思う。介護事業所、ケアプランセンター、訪問看護ステーション等では有効ではないか。入力したものがそのまま記録に複写やコピーできれば業務の効率化も図れると思う。
- ・主治医の先生を訪問してお話を伺う事が敷居が高いと思っているケアマネもまだ多いと思うので、このツールで先生に伝えやすくなるのであれば良いのかなと思います。
- ・複数の事業所がかかわるので、確認したチェック一覧等があるとありがたい。支援経過を記録する際に、情報が残っているのでとても役に立った。
- ・利便性だけでなく、関係職種との信頼関係構築にも役立つ。医師の意向も明確に伝わる。